



素敵なスポットや飲食店、お土産がたくさんある高槻。市内のエリアごとに市観光協会が紹介します。 市観光協会／Tel675-0081

おでかけDAYS

① 希志庵



ボリューム満点



メインは肉や魚など10種類以上から選べ、デザートも付く。

庭先の緑に癒される古民家カフェ。オーディオやこだわりのマグカップなど多趣味な店主の収集品が店内を彩る。人気の竹籠（かご）ランチは、旬の食材を使い、見た目も味も大満足。ゆったり流れる時間に身を委ねれば、日常を忘れさせてくれる。

営 11:00～15:00
休 日曜
☎ 696-4126

② カトルフィーユ



食べたいパンが見つかる



野菜とチーズたっぷりのタルティーンが店の看板商品

オープンして20年。おいしくて、みんなが親しめるパン作りを続けている。毎日いろんな具材を使った50種類ものパンが焼きあがるので、食べたいパンがきっと見つかる。季節ごとに具材の野菜やフルーツが入れ替わり、旬のおいしさがプラス。

営 7:00～19:00
休 火曜
☎ 694-9526



③ 五社井堰



富田台地を潤してきた取水口

五社井堰は、安威川から周辺の村々（五社組と呼ばれる旧7カ村）へ農業用水を引き込む取水口だった。古代、ここから流れる五社水路で嶋上郡と嶋下郡の郡界線が引かれ、その境が高槻市と茨木市の市境に引き継がれている。

④ 塚原古墳群



安威川流域の有力者層が眠る

塚原古墳群は、阿武山の南・東斜面一帯に営まれた古墳時代後期の群集墳。かつて古墳は百数十基を数え、地元では「塚原八十塚（やそづか）」として親しまれてきた。安威川流域にあった村々の有力者層が葬られたと考えられている。

⑤ 八幡大神宮



地域を見守り続ける神社

創建は不詳であるが八幡神社とも呼ばれ、地域の氏神として祭られてきた。農家が牛を飼育していた頃は、「牛のつめ切り」が毎年行われていた。小正月の前日には、周辺農家による豊凶を占う粥（かゆ）占いの神事が続けられている。